

福井県公共工事入札監視委員会の開催概要について

このことについて、平成 27 年度福井県公共工事入札監視委員会（第 2 回）を開催しましたので、その概要をお知らせします。

記

- 1 日 時 平成 27 年 9 月 4 日（金） 9:30 ～ 11:30
- 2 場 所 県庁 2 階 中会議室
- 3 出席委員 荒井委員、金崎委員、川上委員、清水委員、藤井委員（五十音順）

4 議事次第

- (1) 開会
- (2) 議題
 - ・入札および契約に係る制度の運用について
 - ・抽出事案審議
 - ・談合その他の不正行為に関する事項について
- (3) その他
- (4) 閉会

5 会議概要

- (1) 入札および契約に係る制度の運用について（平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 6 月 30 日）
 - ・契約件数、落札率の状況について説明
 - ・指名停止の運用状況について説明
 - ・総合評価落札方式の実施状況について説明

Q 不調と不落の違いは何か。

A 応札が一者もないのが不調。応札はあったが、技術者を配置できない等の理由で落札者が一者もないものは不落としている。

(2) 抽出事案審議（事前に金崎委員が抽出）

ア （県単）道路防災対策工事

Q 非常警報システムの老朽化に伴う取替工事だが、古いシステムのうち再利用できたものはないのか。

A 押しボタンや非常電源装置、表示盤はそのまま利用している。

Q 古いシステムの設置業者しか改修できない内容の工事ではないのか。

A そのような工事ではない。

イ 交通安全施設等整備工事（防災・安全交付金）その 1 工事

Q この区間は 22 年度から工事を行っているが、今後の予定はどうか。

A 28 年度でこの区間の電線共同溝の工事を終え、29 年度に歩道のバリアフリー工事を行う予定である。

ウ 平成27年度森林基幹道開設工事（農村漁村地域整備交付金）今庄・池田線2工区

Q 総合評価落札方式【地域防災力維持型】は地域防災力維持の観点から地元で施工能力の高い業者を確保することを趣旨としているが、この工事では工事施工市町以外の業者が落札している。趣旨に合っているのか。

A この工事では、地元市町の業者は技術評価点が他の応札者より低かったため、結果として地元市町以外の業者が落札したものである。なお、落札した業者は同じ土木事務所管内の業者である。

エ 臨海下水道事業2系活性炭再生炉更新工事

Q 活性炭再生炉とは何か。

A 汚水を浄化するための活性炭を繰り返し自家再生する処理装置のことである。

Q 応札した業者が1者であったが、どのような理由が考えられるか。

A 既設の活性炭再生炉の改修に加え、一般的な焼却炉の新設、増設または更新を含めた工事の実績により入札参加を求め、県外業者を含め複数の応札者を見込んだが、応札は1者に留まった。

オ 平成27年度復旧治山工事（火山）治山測量・調査・設計業務委託

Q 指名理由としている必要資格のうち、補償コンサルタントとはどのような業務か。

A 公共事業の用地買収等の際の物件調査などを請け負う業務のことである。

Q 業者の応札額が予定価格付近に集中しているが、理由として何が考えられるか。

A 業務の実施場所が奥越の山間部であり、積極的な応札がなかったのではないかと考えられる。

(3) 談合その他の不正行為に関する事項について

期間中に談合情報が3件あったが、談合の事実があったとは認められなかったことを報告

Q 次回から応札の状況についても資料を用意してほしい。

A わかりました。

(4) その他

平成26年6月の入札制度見直し後の県発注工事の施工状況と、県内の建設業者の概ね10年間の推移について、事務局より説明。